

達成度(評価)	
A	: 十分達成できている
B	: おおむね達成できている
C	: やや不十分である
D	: 不十分である

1 前年度 評価結果の概要	<ul style="list-style-type: none"> ・昨年度はいずれの項目も、「おおむね達成」または「十分達成」であった。 ・学力の向上に関しては、国語の校内研究を中心として取り組み一定の成果を出すことができた。「話し合い活動」や「振り返り」を工夫し、教師の「マイプラン」を意識した取組を更に推進していく必要性を感じた。 ・心の教育では、いじめや問題行動の早期発見や早期対応についてチームとして対処した。今後更に人権意識を高めるとともに、更に自己肯定感や自己有用感を高めるような働きかけや手立てを考えていくことが課題となった。 ・本来学校が担うべき業務の充実及び精選のため、保護者や地域に移譲できる業務は移譲し、職員の負担軽減や業務効率化、時間外勤務時間の削減に努めてきた。今後も更に業務を見直したり、学校と保護者及び地域の役割分担を明確にしたりして、積極的に業務改善を行うとともに、プロジェクト制やプロジェクト制を意識した「チーム大浦小」としての学校組織力の向上に努めていきたい。
----------------------	--

2 学校教育目標	ひこばえの心もち、強く・かしく・美しく生きる子どもの育成を図る
-----------------	---------------------------------

3 本年度の重点目標	<ul style="list-style-type: none"> ①確かな学力の向上のため、日々授業改善に取り組み、児童が主体的・対話的に学び、自信をもって表現する態度の育成を図る ②児童の自己肯定感や自己有用感を高め、人を思いやる豊かな心やふるさと大浦を誇りに思う心を育成する ③児童自身の健康意識を高め、自ら病気を予防に努めたり、何事にも粘り強くなりたくして、健やかな体の育成及び自他ともに命を大切にす態度を育成する ④教職員のワークライフバランスの保持を、働き方改革に対する教職員の根本的な意識改革の充実
-------------------	---

4 重点取組内容・成果指標	中間評価	5 最終評価	
---------------	------	--------	--

(1)共通評価項目				中間評価		最終評価		学校関係者評価		主な担当者
評価項目	重点取組内容	成果指標(数値目標)	具体的取組	進捗度(評価)	進捗状況と見通し	達成度(評価)	実施結果	評価	意見や提言	
				●学力の向上	●全職員による共通理解と共通実践	●学力向上対策評価シートに示したマイプランの成果指標を達成した教師80%以上	・教職員間でマイプランを共有するとともに、校内研修等により取組の促進を図る。			
	○自信をもって表現する子どもの育成	○「学級(クラス)の友達との間で話し合う活動を通じて、自分の考えを深めたり、広げたりすることができていると思う」と回答した児童80%以上	・授業づくりのステップ1・2・3 Vol.2を踏まえ、全教科の授業で「話し合う活動」や「振り返り」を設定する。							学力PJ
●心の教育	●児童生徒が、自他の生命を尊重する心、他者への思いやりや社会性、倫理観や正義感、感動する心など、豊かな心を身に付ける教育活動	○学校評価アンケートにおいて、「自分にはよいところがある」「自分は誰かの役に立っている」の項目で肯定的な回答をした児童85%以上	・人権集会やほかほかの木、道徳に関するアンケートに取り組み。 ・QUアンケートに関する校内研修を実施する。							心PJ
	●いじめの早期発見、早期対応体制の充実	○学校評価アンケートで、「まわりの人たちが、困っている人にやさしくしていますか」の項目で、肯定的な回答をした児童90%以上	・心のアンケートを毎月実施し、いじめの早期発見に努めると同時に事案発生の際はチームで迅速な対応を行う。 ・担任と児童一人一人と話す「教育相談週間」を設定し、児童の状況の把握と信頼関係の構築を行う。 ・毎週木曜日の子ども支援連絡会を通し、教師間の児童の情報共有かつ指導の統一を図る。							心PJ
	○生活指導の徹底	○学校評価アンケートで、「大きな声であいさつ」「正しい廊下歩行」「無言そうじができる」の項目で「よくできる」と答える児童80%以上	・毎月クラスで「大きな声であいさつ」「正しい廊下歩行」「無言そうじができる」を反省することで、児童の意識の向上を図る。 ・全校朝会で生活の話をする。また、定期的に放送でも、児童の良い行いを紹介する。							心PJ
●健康・体づくり	●「望ましい生活習慣の形成」 ●「望ましい食習慣と食の自己管理能力の育成」	●ひこばえがんばりカードで就寝時刻を守ることができていると答える児童90%以上 ●衛生検査で「朝食を食べてきた」と答えた児童95%以上	・ひこばえがんばりカードに各担任が必ず目を通し、必要に応じて指導する。 ・栄養教諭と連携し、食育指導を年3回以上行う。							体PJ
	○健康管理及び健康習慣の定着	○学校評価アンケートで健康管理のために自分で意識し、率先して手洗い・うがい・菌みがきを行うことができたと答える児童を90%以上	・感染症対策も含め、日常的に意識して行えるよう、児童委員会やほけんたより、保健室前の掲示板を活用して啓発活動を行ったり、担任と養護教諭がTTで保健指導を行ったりする。							体PJ
●業務改善・教職員の働き方改革の推進	●業務効率化の推進と時間外勤務時間の削減	●教育委員会規則に掲げる時間外在校等時間の上限を遵守する。	・自分の勤務状況を確実に把握するために出勤退勤カードの管理を確実に行うとともに、毎日予定ボードに必ず退勤予定時刻を明記し、実行する。 ・資料の事前配布やICTの活用により会議をスリム化し、会議の回数や時間を減らす。 ・毎週金曜日を定時退勤日として設定し確実に守るようにする。							校長・教頭
	○学校組織力の向上 ・ブロック制による学年経営 ・プロジェクト制による校務運営 ・各種主任、コーディネーターのリーダー性の向上	○「プロジェクトやブロック制を意識した業務ができた」と答える教員80%以上 ○「担当分野の内容改善を進んで行った」と答える職員80%以上	・ブロック主任、各部長は年間を通じて定期的に情報の共有を行い、ブロック主任は、意図的・計画的に教育活動が行われるように進捗状況を把握する。 ・プロジェクトリーダーを中心として、毎月の取組での重点的事項について内容・方法の検討や改善を行う。 ・各担当の内容について、職員会議での提案や連絡会での連絡を欠かさず行い取り組む。							
(2)本年度重点的に取り組む独自評価項目				中間評価		最終評価		学校関係者評価		主な担当者
評価項目	重点取組内容	成果指標(数値目標)	具体的取組	進捗度(評価)	進捗状況と見通し	達成度(評価)	実施結果	評価	意見や提言	
				○特別支援教育の充実	○教員の専門性と意識の向上	○特別支援に関する専門性や意識が向上したと答える教員85%以上。	・特別支援に関する研修会を実施する。 ・子ども支援連絡会等で情報共有すると同時にケース会議を開催して個別の支援の対応を図る。			
◎主体的・意欲的な態度の育成	◎児童が夢や目標を持ち、その実現に向けて意欲的に取り組もうとするための教育活動	○自分の夢や目標の実現に向けて努力する気持ちがあると答える児童80%以上	・全ての教科等、学校行事等を通して、夢や目標について自ら考えさせる時間や場面を設ける。 ・授業場面においては必ず振り返りの時間を設定する。							全担任

●・・・県共通 ○・・・学校独自 ◎・・・志を高める教育

5 総合評価・次年度への展望	
-----------------------	--